

子ども真ん中「お互い様・おかげ様」の地域共生の居場所づくり事業

【事業費総額 4,611 千円 (WAM 助成金 4,532 千円)】



学習支援の様子



地元の魚を捌く様子

団体設立経緯

ひとり親世帯や低所得者世帯が多いという地域の特色がある中、貧困や虐待などにより家庭生活が困難な状況にある地域住民の支援を目的として平成19年に任意団体を設立し、令和5年に法人化しました。今回の事業では、天草市外も含む広域の不登校児童・生徒の居場所支援体制の構築を目指し活動を実施しました。

事業実施内容

不登校児童・生徒が外出できるようになることを目指して、「日々の学習支援」、「長期休暇中の居場所づくり」、「体験学習」を実施しました。

「日々の学習支援」では、個々の発達特性や精神状態、学習の理解度に合わせた「個性に対応した学習支援プラン」を考え、きめ細かな支援を実施し、活動記録を学校関係者や保護者と共有して連携を図りました。

「長期休暇中の居場所作り」では、近隣の高校生や大学生がボランティアとして参加し、若者同士が活発に交流する場として、地域に根差した活動となりました。

「体験学習」では、ひとり親世帯や困りごとのある家庭の親子を対象に、季節のイベントや調理実習を企画し、参加者の体験格差の解消に貢献するだけでなく、日常生活の自立を促進しました。また、市内の専門職を講師として招き、地域の不登校支援ネットワークを拡充しました。

事業成果

不登校相談について35名のサポート対応を実施し、うち68%の不登校児童・生徒について学校復帰につなげることができました。

また、これまでに3校で、当団体が実施する「学習支援」への参加をもって出席扱いとなったケースがあり、天草市内の不登校支援の先駆的な事例となりました。

同事業に対する評価

地域の実情、ニーズを把握したうえで明確な理念を持って事業を展開し、また、ニーズに応えることによって洗い出される新たな課題に対しても適時対応し、成果をあげている点を評価しています。

地域の方々にとっていざというときに頼りにできる存在として日常生活の安心感を与え、また、居場所を利用した方が支える側にまわり互いに支えあう場所ともなっており、今後の展開を期待しています。

特定非営利活動法人
わらびかみ
(熊本県天草市)



URL <https://www.warabikami-npo.com/>